

TOPICS

ボーフォート海の石油開発 日本も参加、見返りに原油

ボーフォート海の石油開発計画に日本も参加することになった。

カナダ北極の日加共同資源開発については、一九七七年十一月以来話し合いが続けられていたが、今年二月、カナダ側のドーム・ベトロリアム社と日本側の窓口会社「北極石油」との間で最終契約が結ばれ、いよいよスタートすることになった。

合意によると、日本側は探鉱資金として一九八一年から八四年までに四億カナダ・ドル、および最初の四油田のうち三つの開発に必要な資金の一〇・二五パーセントを貸与し、これらの支払いを原油で受け取るようになっていた。日刊工業新聞（二月十九日）は、七・五億バレルの計算になる、と報じている。

カナダは現在、原油の純輸入国であるが、ボーフォート海の資源開発により、自給自足を達成し、輸出余力がでてくるものと期待されている。

日本側としては、原油確保の道が開けるほか、大手造船七社が北海での石油開発技術に関する知識を得るためにこのプロジェクトに

参加しているように、高度技術面での利益もある。造船各社は、石油開発で得られる技術データを共有できることになっている。て

ボーフォート海の石油産出で 自給達成とドーム社が予測

一九七六年以来カナダ北極のボーフォート海で石油・天然ガスの探査を続けているドーム・ベトロリアム社（本社カルガリー）によると、これまでに試掘した三十三本の油井から一帯には膨大な量の石油・天然ガスが存在する可能性がきわめて強いという。

同社の予測では、ボーフォート海での石油産出量は一九九〇年には日産七十五万バレル、九五年には百五十万バレルに達する見込みで、これによつてここ十年以内にカナダは石油の自給自足が達成できるはず。そのためには、四百億ドルの直接投資が必要だという。

相次ぐ日加間姉妹都市提携

カナダと日本の姉妹都市提携は、昨年までに十四組であったが、今年に入つて愛知県春日井市とブリテイッシュ・コロンビア州ケローナが縁組みを結んだほか、滋賀県神崎郡能登川町がアルバータ州の

デーバー町と姉妹提携し（四月、北海道の白老町がBC州ケネル市との提携を決めている。白老町とケネル市は、すでにロータリークラブ同士が縁組みしている。

春日井市では、ケローナ市との間で、中学生の短期交換留学や学童の作品交換、「ケローナ通り」の設置、市民国際親善友好協会の設置などを決め、その他の姉妹都市でもさまざまな親善・交流計画をたてている。

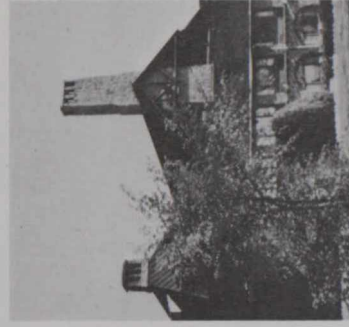
また、バンクーバー港と横浜港も、五月十五日、姉妹港提携に調印し、これを記念して横浜では六月の港まつり期間中に、カナダの物産展・即売会を行う「姉妹港フェア」を開催する。バンクーバーと横浜はすでに姉妹都市でもある。

オタワ・サミットは静かな環境で

今年の先進国首脳会議（サミット）は、七月二十、二十一日二日間にあつて、カナダの首都オタワと近郊の保養地モンテペロで開かれる。

オタワはリドー、オタワ両川の合流する天然の景勝地にあり、人口はオタワ川南岸のハル市とあわせて約七十四万。連邦政府の所在地であるとともに、学術と科学技術の中心地でもある。

モンテペロは、オタワから東へおよそ六十キロ、オタワ川北岸に位置する、森、湖、小川に囲まれた保養地で、十七世紀風の豪華なホテルが建っている。



サミット会場となるシヤトロー・モンテペロ

サミットの第一日目（月曜日）の会議はこのホテル、シヤトロー・モンテペロで、第二日目はオタワの議会議事堂内（東棟）で開かれる。

カナダ人芸術家が続々来日

このところ、「カナダ版画家十人展」（五月二十六日～六月七日福岡市美術館、六月十六日～二十八日 神奈川県民ギャラリー、七月三日～十七日 東京・フジテレビ・ギャラリー）に続いて、七月からは「カナダ現代美術展」が予定され、またカナダの指揮者ヒクター・フェルドプリル氏が東京都交響楽団を指揮する（五月十八日、新宿文化センター）など、カナダの芸術的催しや芸術家の来日が相次いでいる。

これから予定されているイベントとしては、次のようなものがある。

○クラシック・ハープ演奏家シユティ・ローマン、「今日の音楽」参加のため来日（五月二十五日～三十一日）

○一九八〇年バルナ国際バレエ

コンクールで第一位金賞に輝いたイブリン・ハートと同第一位銀賞のテイビット・ベレグリン（いずれもロイヤル・ウイニベグ・バレエ団所属）、バレエ・フアンタジー81」（六月二十三～二十四日、新宿文化センター、国際芸術協会主催）に出演。

○彫刻家コッソ・エルール、箱根「彫刻の森」で開かれる「第二回ヘンリー・ムーア大賞展」（七月四日～十月十一日）の海外招待作品部門に出展のため来日。

○クラシック・ギタリスト、リオナ・ボイドが各地でコンサートを開くため、今秋来日の予定。

新しいカナダ講座担当に 政治学のスミス教授

昨年春から一年にわたつて筑波大学、慶応大学、国際基督教大学などでカナダ講座を担当していたシジョン・セイウエル教授がこのほど離任、代わつてサスカチワン大学政経学部からテイビット・E・スミス教授（政治学）が着任した。



スミス教授はウエスタン・オンタリオ大学で学士号、デューク大学で修士号と博士号を取得、

Prairie Liberalism: The Liberal Party in Saskatchewan および Region, Party and Nation: The Liberal Party and the Prairie Provinces, 1957-1977 の著書のほか、多数の論文がある。